

●岡山大学 医歯薬学総合研究科

「ARTプログラムによる医学研究者育成」の事例 <医療系>

具体的に何を実施したのか

医学部医学科学生が3年次から大学院座学講義で研究方法論基礎・臨床を早期履修できるようにした。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院を昼夜開講とし、すべての座学は午後6時45分からの夜間開講、あるいは休日開講として学部のカリキュラムとバッティングしないようにした。夜間・休日に開催される研究セミナーや学会・国際シンポジウムなどを大学院学務委員会で審査の上、優れた内容と思われるものについては「大学院の講義と見なす制度」を取り入れ、大学院生が選択し易いように配慮した。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

大学院生の座学講義への出席率が格段に向上した。また講義において熱心に討論や質疑応答が行われ、講義の質が向上した。学部学生が大学院研究に対する興味を強く持つようになった。

●岡山大学 医歯薬学総合研究科

「ARTプログラムによる医学研究者育成」の事例 <医療系>

具体的に何を実施したのか

大学病院における卒後初期臨床研修医が大学病院所属の社会人大学院生として大学院に進学できるようにした。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院を昼夜開講とし、すべての座学講義を夜間午後6時45分以後あるいは休日開講として、卒後臨床研修と両立出来る様にした。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

制度実施以前は大学院進学者の大部分が、学部卒業後に長期間を経ており、学外の関連病院所属の勤務を主とする社会人大学院生であったのに対し、本制度実施後は卒後直ちに大学院に進む人が増えた。大学院全体としても人気が高まり定員を充足するようになった。大学院生の研究の質が高まり、また研究医を目指す人材も増えた。